

新たな栽培技術を活用した持続可能な農業経営の確立

活動対象：当麻地区緑郷 1-1区・1-2区

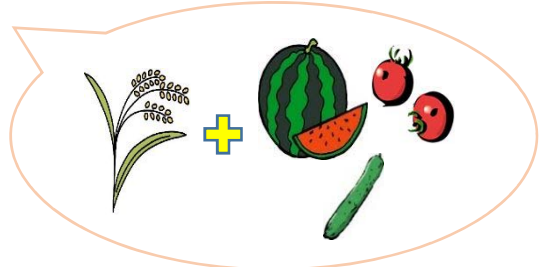
水稻栽培における春作業の負担軽減を目的に、省力化栽培技術(高密度播種栽培・疎植栽培)の展示ほを設置し、技術導入の検証と情報交換を行った。これにより、技術情報が地域で共有され、対象農業者の省力化栽培技術導入の意欲が向上した。

課題設定の背景

水稻と園芸作物の複合経営が主体

水稻栽培と施設野菜の春作業が集中
家庭内の労働力への依存

作付規模に対して、慢性的な労働力不足



省力化栽培技術の導入による労働力軽減が地域で求められていた。

活動の経過①—農業者の意向に基づいた提案

我が家も稲の育苗管理に
人手が足りない！

これ以上、ハウスの増設は厳しいし、
育苗管理もラクしたい！



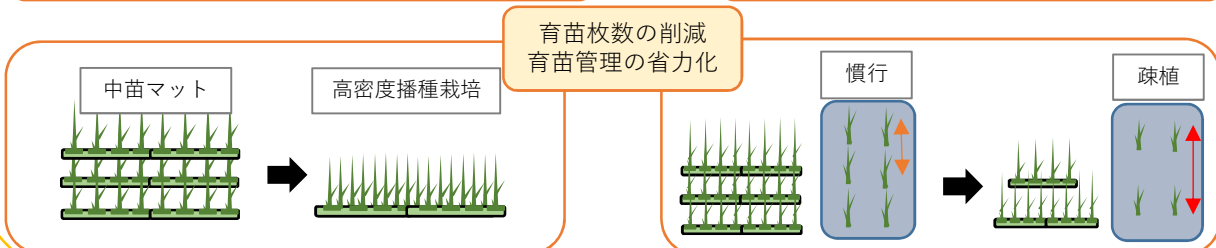
成苗ポットの農業者が
多いからなあ…

「きたくりん」は
晩生品種だし、成苗ポット
を基本に省力化ができた
らなあ。

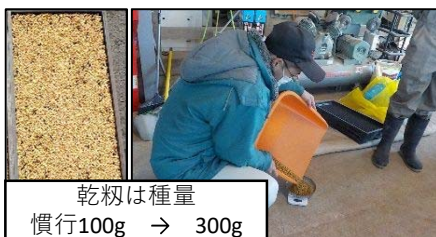


「高密度播種栽培」を
こちらの地域で取り組んでみませんか？

であれば「疎植栽培」の
検証も必要ですね！

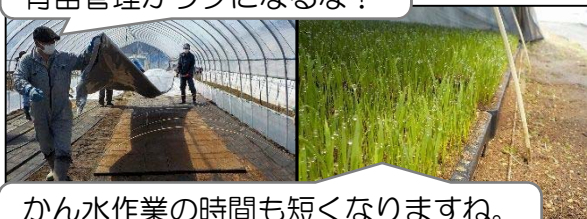


省力化栽培技術の検証や情報交換のため、展示ほを設置した！



活動の経過②－展示ほを活用した普及活動

箱数が減ると
育苗管理がラクになるな！



かん水作業の時間も短くなりますね。
苗の生育も順調ですよ！

育苗準備

株間が広いと、植付本数が少ないから
収量が心配になるよ。



生育のバラツキも心配ですよな。
定期的に調査しましょう！

生育調査



普及センター

作業性の
確認

導入意欲の
聞き取り

留意点の
情報発信

生育状況の
データ集約



生育過程から収量・品質まで
データ化して、結果をお伝えします！

展示ほ場巡回

情報交換会

活動の成果



育苗はラクだし、
来年は「高密度播種栽培」の
面積を拡大していこうかな！

「疎植栽培」は後から株が大
きくなって慣行と変わらない
くらい穫れるんだね。

育苗管理がラクになると、
施設園芸の準備に
余力ができたよ！



省力化栽培技術に
興味が出てきた！
次年度は「直播栽培」の
アドバイスも欲しいなあ。



JA当麻の
「水稻栽培カレンダー」に
展示ほの結果が紹介された。

- ◎展示ほを設置したことで、多くの農業者・関係機関に省力化栽培技術の情報を発信するきっかけとなった。
- ◎農業者の省力化栽培技術の導入意欲が高まった。

今後の課題

- ・地域農業者の意向を聞き取りつつ、省力化栽培技術導入を必要とする農業者を支援する。→導入面積の拡大
- ・新たな省力化栽培技術としてドローンを活用した直播栽培を検討・推進する。